



キタノホッケ

学名 : *Pleurogrammus monoptygius*

英名 : Atka mackerel

地方名 : シマホッケ、チシマホッケ

脊椎動物門－硬骨魚綱－カサゴ目－アイナメ科



著作権: 仲谷 一宏

特徴

ホッケよりも寒冷な水域を好み、千島列島沿岸に多く生息している。体側に 5～6本の暗色の横帯があるのでホッケと区別することができる。体色は暗黄色や淡黄色など、変化に富んでいる。食べ方はホッケと同じであるが、味はホッケ よりやや劣る。キタノホッケはロシアから輸入されることが多く、開き干しは比較的人気がある。脂がのった厚めの肉は、最近になってじわじわと人気が高まっている。

分布: オホーツク海～千島列島、ベーリング海、
北海道の太平洋岸

大きさ: 50cm

漁法: トロール網

食べ方: 開き干し